

# 鳥取県の原子力防災対策

## (令和4年度結果及び令和5年度予定)



令和5年7月5日

鳥取県危機管理局原子力安全対策課

### 1 令和4年度の主な取組

- (1)原子力防災訓練
  - ①島根原子力発電所対応
  - ②人形峠環境技術センター対応
- (2)鳥取県原子力防災支援基地(鳥取基地)の整備
- (3)地区別避難計画パンフレットの作成
- (4)原子力防災協力協定等の締結
- (5)広報・普及啓発

### 2 令和5年度 of 取組

- (1)原子力防災対策の取組方針
- (2)原子力防災対策関連予算
- (3)年間スケジュール(案)

## 【令和4年度の主な取組】 原子力防災訓練(島根原子力発電所対応)①

2県6市による島根原子力発電所対応の原子力防災訓練は、平成23年度から実施しており令和4年度で12回実施。

### 【令和4年度実施状況】

#### ①訓練参加機関・参加者数： 19機関、約500名(住民約80名)

鳥取県、鳥取県警、米子市、境港市、鳥取市、北栄町、琴浦町、陸上自衛隊第8普通科連隊、自衛隊鳥取地方協力本部、境海上本部、鳥取地方気象台、国土交通省倉吉河川国道事務所、原子力規制庁島根原子力規制事務所、内閣府、鳥取大学医学部附属病院、鳥取県西部広域行政管理組合消防局、(一社)鳥取県診療放射線技師会、(一社)鳥取県薬剤師会、障害者支援施設光洋の里、中国電力株式会社、島根県 等

#### ②訓練日程及び内容

| 実施日   | 参加機関・参加者   | 訓練内容   |
|-------|------------|--|
| 11/7  | 11機関 約140名 | 本部等運営訓練、緊急時モニタリング訓練、広報・情報伝達訓練  |
| 11/12 | 15機関 約370名 | 住民避難訓練、避難退域時検査訓練、避難行動要支援者避難訓練、原子力災害医療活動訓練(烏大病院、安定ヨウ素剤)、避難誘導・交通規制等措置訓練等 |

※その他、機能別訓練として8月9日に船舶避難訓練、9月25日に県営避難所開設訓練を実施。

#### ③主な訓練項目

- ・災害対策本部の対応検証
- ・避難行動要支援者の避難手順の検証
- ・避難円滑化に係る手段の検証

## 【令和4年度の主な取組】 原子力防災訓練(島根原子力発電所対応)②



初動対応訓練(11/7)



2県6市首長によるTV会議(11/7)



緊急時モニタリング訓練(11/12)



避難退域時検査訓練(車両検査・住民検査)(11/12)



住民避難訓練(避難行動要支援者避難含む)(11/12)



## 【令和4年度の主な取組】 原子力防災訓練(島根原子力発電所対応)③

### 2県6市合同訓練以外の機能別訓練の概要

#### ■原子力防災訓練(船舶避難) 令和4年8月9日(火)

##### 【参加機関】

県、海上自衛隊舞鶴地方総監部、中国電力(株)等  
多用途支援艦「ひうち」(海上自衛隊)

##### 【訓練行程】

境港(竹内岸壁)→鳥取港

##### 【訓練内容】

- ・船舶避難に係る関係機関との連絡要領の確認
- ・船舶への乗降船及び災害復旧車両の搭載・卸下手順の確認、避難先となる鳥取港の使用習熟

#### ■原子力防災訓練(県営避難所開設) 令和4年9月25日(日)

##### 【参加機関】

県、米子市

##### 【実施場所】

鳥取中央育英高等学校

##### 【訓練内容】

- ・職員の動員手順の確認
- ・県営広域避難所(居住スペース)の設営  
※米子市住民の参加による避難先・避難経路確認訓練とあわせて実施



船舶避難訓練の様子(8/9)



県営避難所開設訓練の様子(9/25)



4

## 【令和4年度の主な取組】 原子力防災訓練(人形峠環境技術センター対応)①

(国研)日本原子力研究開発機構人形峠環境技術センターにおける原子力事故・トラブル発生時の対処能力の向上を図るため、岡山県と合同で訓練を実施(令和4年度で22回目)。

#### 【令和4年度実施状況】

##### ①日時:

鳥取県単独(機能別訓練) 令和4年10月18日(火) 9:00~12:00

岡山県合同(図上訓練) 令和5年1月30日(月) 8:30~16:00

(9:30~13:00一時中断)

##### ②参加機関・参加者数:

鳥取県、鳥取県警、三朝町、中部ふるさと広域連合消防局等(鳥取県内 約75名参加)

| 訓練項目                                    | 主な実施場所                 | 主な実施者                      |
|---|------------------------|----------------------------|
| 災害対策本部等運営訓練                             | 三朝町役場<br>県庁<br>中部総合事務所 | 三朝町<br>原子力安全対策課<br>中部総合事務所 |
| オフサイトセンター訓練                             | 上齋原オフサイトセンター           | 上齋原原子力規制事務所<br>OFC参集要員     |
| 緊急時モニタリング訓練                             | 原子力環境センター<br>中部総合事務所   | 原子力環境センター<br>中部総合事務所       |
| 資機材等展開訓練<br>(機能別訓練)                     | 三朝町総合<br>スポーツセンター      | 中部消防局<br>三朝町<br>原子力安全対策課   |
| 原子力災害医療活動訓練<br>(ホールボディカウンター車による内部被ばく検査) |                        | 原子力安全対策課                   |

5

【令和4年度の主な取組】

原子力防災訓練(人形峠環境技術センター対応)②



災対本部等運営訓練(県庁)



緊急時モニタリング訓練



資機材等展開訓練



資機材等展開訓練



原子力災害医療活動訓練

【令和4年度の主な取組】

鳥取県原子力防災支援基地(鳥取基地)の整備

- 避難退域時検査会場開設に係る資機材の一括管理を行うため、原子力防災支援基地を鳥取市内に整備。
- 必要な資機材を標準化した上でコンテナに一括収納し、コンテナごと輸送することで迅速な会場設置が可能。
- 他道府県で原子力災害が発生した場合には、コンテナを迅速に輸送し、資機材の全国相互融通体制に寄与。

【位置】鳥取市松原地内

【建屋面積】693㎡(幅22m×奥行31.5m)(高さ12.5m)

【収容物】

避難退域時検査及び除染用資機材収納コンテナ18基(9基×2会場)  
(山陰道・国道9号線沿いの避難退域時検査会場に対応)

【運用開始】令和4年12月23日

【特徴】

- 鳥根原発から100km以上離れ、地震等の複合災害に影響を受けずに原子力災害に係る後方支援ができる地域に設置
- 山陰道吉岡温泉ICに近接し、検査会場まで迅速な輸送が可能
- 国や他県等からの人的・物的支援の集積拠点等としても活用可能



※令和5年度には江府町内にも基地を整備



# 【令和4年度の主な取組】 地区別避難計画パンフレットの作成

## 1 目的

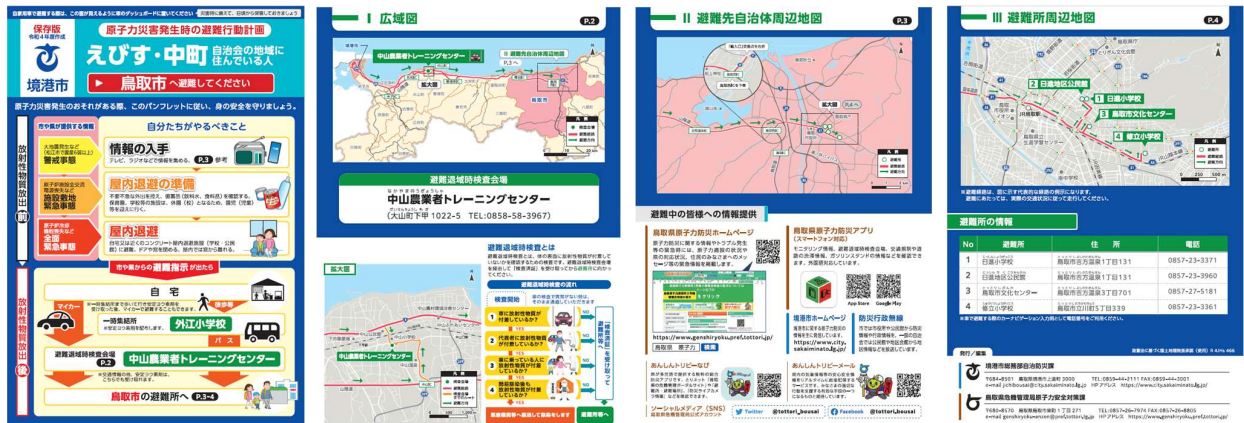
住民の避難計画への理解をより深め、安心感を醸成するとともに、避難計画の実効性向上を図ることを目的として、避難計画で定めた地区ごとに避難経路や避難先等を地図で確認できるパンフレットを作成し、配布。

## 2 作成

境港市：68地区（自治区単位）、米子市：9地区（公民館区単位）

## 3 内容

- ・原子力災害時の避難行動フロー
- ・各地区ごとの避難経路、避難退域時検査会場及び避難所周辺地図 など



8

# 【令和4年度の主な取組】 原子力防災協力協定等の締結

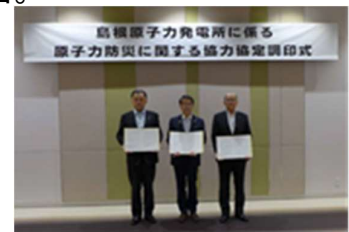
鳥取県、島根県及び中国電力株式会社の間で、避難計画の実効性をより向上させるため、島根原子力発電所に係る原子力防災に関する協力協定等を締結。

## 1 締結した協定の名称

- ・島根原子力発電所に係る原子力防災に関する協力協定
- ・島根原子力発電所に係る原子力防災に関する財源協力協定

## 2 協定締結日 令和4年7月6日(水)

## 3 協定の概要



|      |  |  |
|------|--|--|
| 名称   | 島根原子力発電所に係る原子力防災に関する協力協定   | 島根原子力発電所に係る原子力防災に関する財源協力協定   |
| 目的   | 島根原発の原子力防災対策について、島根県、鳥取県及び中国電力が相互に連携、協力を図ること   | 左記協定を根拠とし、鳥取県が実施する原子力防災対策に係る経費のうち国の財源措置が行われのないものについて、中国電力が一定の継続性をもって応分負担すること                           |
| 締結者  | ①鳥取県知事 平井 伸治<br>②島根県知事 丸山 達也<br>③中国電力株式会社代表取締役社長執行役員 瀧本 夏彦   | ①鳥取県知事 平井 伸治<br>②中国電力株式会社代表取締役社長執行役員 瀧本 夏彦   |
| 主な内容 | 中国電力の原子力防災対策に対する責務の明確化等<br>・平時の情報共有（要員や資機材等の協力体制）<br>・緊急時の協力（避難退域時検査、緊急時モニタリング、避難行動要支援者の避難支援（福祉車両の確保を含む）等）<br>・財源の協力 | 財源の協力に係る内容<br>・負担の範囲（1.8億円／年を上限）<br>・鳥取県原子力防災対策基金への積み立て<br>・県は引き続き国の財源確保に努める<br>・有効期間は令和4～8年度の5年間（更新可） |

9

## 【令和4年度の主な取組】 広報・普及啓発

講演・研修

### ■原子力防災講演会

放射線や放射線防護などについて学び、原子力災害時に適切な対応や行動がとれるようにするため、県民を対象とした原子力防災講演会を開催。(主催:鳥取県・米子市・境港市、後援:西部町村)

|     |                                 |                             |
|-----|---------------------------------|-----------------------------|
| 日時  | 令和4年7月30日(土)<br>13:30～15:00     | 令和4年7月31日(日)<br>13:30～15:00 |
| 会場  | 国際ファミリープラザ<br>ファミリーホール          | 境港市民交流センター<br>中会議室          |
| 参加者 | 県民等 15名                         | 県民等 12名                     |
| 内容  | 事故防止と原子力災害対応のしくみ                |                             |
| 講師  | 福山大学 名誉教授<br>占部 逸正氏(鳥取県原子力安全顧問) |                             |

### ■放射線研修会

住民からの放射線に関する健康影響等に係る問い合わせや相談対応等を行う可能性のある市町や県の職員等を対象として、放射線の基礎知識や原子力災害時の対応などについて理解を深め、適切な対応ができるよう研修会(講演会)を開催(主催:鳥取県、共催:西部中部市町)

|     |                              |                              |
|-----|------------------------------|------------------------------|
| 日時  | 令和4年 8月 1日(月)<br>13:30～15:10 | 令和4年 8月 8日(月)<br>13:30～15:00 |
| 会場  | 新日本海新聞社<br>中部本社ホール           | 鳥取県東部庁舎<br>講堂                |
| 参加者 | 県民、消防署員、市町・県職員等 8名           | 25名                          |
| 内容  | 放射線の人体への影響～放射線から身を守るための基礎知識  |                              |
| 講師  | 東京工業大学 教授 松本 義久氏             |                              |

冊子等

### ■原子力防災ハンドブック

・原子力災害時の対応や放射線の基本的な知識の普及啓発のための広報紙として、UPZ内の他、避難先となる県内市町村の住民向けにも配布。  
・令和2年度より県在住の外国人の方向けに多言語版(英語、ロシア語、ベトナム語、韓国語、中国語)を作成。



### ■ととりの原子力防災2023

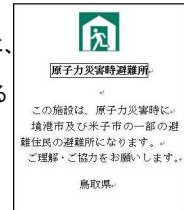
・本県の原子力防災対策、安全対策等について、県の取り組みの透明性の確保や原子力に関する住民のみなさんの正しい理解と安心・安全の確保に繋がることを目的として作成。  
・県HPでも公開。



避難先理解

### ■避難所周知システム

・広域避難受入れ先の原子力災害時避難所内に、「原子力災害時避難所」である旨を標識した物品を施設利用者や地域住民の方の目に触れるところに設置することで、当該施設が原子力災害時の避難施設になることを周知。



### ■避難先及び避難経路確認訓練

避難元住民に避難経路・避難退域時検査会場・避難先施設等を実際に確認していただき、避難計画に対する理解の促進及び住民不安の軽減に繋げるとともに、避難受入れ先の市町及び施設管理者、自治会等の関係者との認識の共有、理解促進を図った。



9月25日(日) 米子市富益地区住民10人 → 湯梨浜町へ  
11月27日(日) 境港市余子地区住民15人 → 鳥取市へ

10

## 【令和5年度の取組】 原子力防災対策の取組方針

### ○方針

島根原子力発電所及び人形峠環境技術センターの情報把握を行い、原子力事業者に対して安全確保を求めるとともに、県民への迅速かつ確かな情報提供及び必要な資機材整備を行うほか、訓練や研修会等の実施、モニタリング体制の強化により、緊急時の対応体制の更なる向上を図る。

### ○重点実施項目

#### (1) 原子力防災体制の整備

- ・原子力防災支援基地(2か所)の整備  
江府基地: R5年秋完成予定(鳥取市基地はR4.12運用開始)
- ・引き続き、防災資機材、原子力防災ネットワークシステムや道路監視カメラシステム等の管理運用等による防災体制の維持及び避難等の防護措置の実効性向上

#### (2) 原子力防災訓練の実施

- ・基本訓練と組織訓練、機能別訓練を計画的かつ段階的に実施していく。
- ・実動訓練等については、関係自治体との共同訓練を基本とし、連携推進を図る。

#### (3) 住民等への普及啓発の促進

- ・放射線や原子力防災対策に対する知識の普及啓発の実施(研修会、現地研修会等)
- ・避難計画等の住民周知による更なる理解向上(ハンドブックの配布、動画チャンネルの配信等)

#### (4) モニタリング体制の強化(福井県との人事交流)

- ・モニタリング先進県である福井県からの派遣職員による指導、福井県への職員派遣による技術の習得

# 【令和5年度の取組】 原子力防災関連予算

**令和5年度  
当初予算事業費  
約 5.7 億円**  
(令和4年：約6.9億)  
※うち原子力安全対策基金  
充当 0.1 億円(0.1)億円

背景

- 中国電力へ島根原発の原子力防災対策への協力の申し入れ(H26.10.20)、基金創設(H27.12)
- 島根原子力発電所1号機の廃止(H27.4.30運転終了、H28.7.4廃止措置申請、H29.4.19認可)
- 島根原子力発電所2号機の新規制基準への適合性審査申請(H25.12.25)
- 島根原子力発電所3号機の新規制基準への適合性審査申請(H30.8.10)
- 島根県との覚書締結(H25.11.7)
- 新規制基準(H25.7.8施行)
- 中国電力へ島根原発安全協定の改定協議(H25.3.15～)、改定(R4.4.8)
- 地域防災計画(原子力災害対策編)、広域住民避難計画(H25.3.18、R2.3.24、R3.3.19、R4.6.20 ほか 修正)
- 原子力災害対策指針(H24.10.31制定、R2.2.5、R2.10.28、R3.7.21、R4.4.6、R4.7.6ほか 改正)

**初動体制の強化等**

■原子力防災ネットワーク等による情報収集・共有化、普及啓発等

**3.9億円(5.2億円)**

○鳥取県原子力防災対策事業

- ・原子力防災訓練、普及啓発(原発見学会、パンフレット作成費等) 65百万円
- ・防護資機材保守・校正・整備費、環境放射線モニタリングシステム保守、先進システム、(ゲートモニタ、避難退域時検査会場の高度化、大型車両除染システム等)、原子力防災NWシステム保守等 295百万円
- ・原子力安全顧問会議 4百万円
- ・環境放射能サンプリング調査 12百万円
- ・非常勤人件費、標準事務費 7百万円

**被ばく医療体制の整備**

■医療機関等の体制構築

**0.3億円(0.3億円)**

○被ばく医療体制整備・医療福祉施設放射線防護対策

- ・緊急被ばく医療研修、放射線測定器校正費、安定ヨウ素剤の更新等 25百万円

○避難退域時検査事業・老人福祉施設避難対策等

- ・換気設備・非常用電源設備保守点検 6百万円

**平常時モニタリング体制整備**

■放射線測定体制の構築

**0.3億円(0.2億円)**

○島根原子力発電所に係る環境放射能等モニタリング事業

- ・環境試料平常時モニタリング事業 3百万円
- ・原子力環境センター管理運営費、同センター機器整備 200百万円
- ・モニタリング要員の人材育成 2百万円

**職員人件費**

○原子力防災対策に従事する職員人件費 **1.2億円(1.2億円)**

12

# 【令和5年度の取組】 年間スケジュール(案)

| 区分  | 第1四半期  | 第2四半期   | 第3四半期   | 第4四半期   |
|-----|--|---|---|---|
| 訓練  |  | <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl;">避難先・避難経路確認訓練</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl;">船舶訓練</div> </div>  | <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl;">島根原子力発電所対応</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl;">人形峠環境技術センター対応</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl;">避難先・避難経路確認訓練</div> </div> | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl;">避難先・避難経路確認訓練</div> |
| 研修等 | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl;">現地研修会</div> | <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl;">現地研修会</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl;">原子力防災講演会</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl;">放射線研修会</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl;">消防団員向け研修会</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl;">バス等運転業務関係者研修会</div> </div> |   | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl;">現地研修会</div>        |
| その他 | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl;">顧問会議</div>  | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl;">顧問会議</div>   | <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl;">原子力防災支援基地(江府町)完成</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl;">顧問会議</div> </div>  | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl;">顧問会議</div>         |

※現段階での予定であり、今後変更する場合があります。